

C21

公立学校施設の転換・改修設計のモデル開発

—横浜・KIRプロジェクト, 多摩ニュータウン・NAGプロジェクト—

The Model Development for Planning of Public school Conversion

上野 淳 (教授) 北山和宏 (助教授) 角田誠 (助教授) 倉斗 綾子 (COE研究員) 近藤樹理 (修士課程)

常陰有美 (修士課程) 登坂壮人 (修士課程) 濱洋子 (修士課程) 比嘉盛達 (修士課程)

岡村卓麻 (学部生) 坂本充 (学部生) 篠田紀行 (学部生) 樋沼綾子 (学部生) 藤澤拓介 (学部生)

Jun UENO(Prof.), Kazuhiro KITAYAMA(Assoc. Prof.), Makoto TSUNODA(Assoc. Prof.),

Ryoko KURAKAZU (COE Researcher), Juri KONDO(Master Course), Yumi TSUNEKAGE(Master Course),

Taketo TOSAKA(Master Course), Yoko HAMA(Master Course), Morimichi HIGA(Master Course),

Takuma OKAMURA (Undergraduate) , Mitsuru SAKAMOTO(Undergraduate),

Noriyuki SHINODA(Undergraduate), Ayako HINUMA(Undergraduate), Yusuke FUJISAWA(Undergraduate)

ABSTRACT

The purpose of this series of studies is to develop the planning model of existing school buildings conversion to modernized school environment or other community facilities functions. This year we achieved two projects which aims to convert from abolished existing school buildings to the community centers, in Yokohama City and Tama Newtown.

キーワード：公立学校，用途変更，学校統廃合，

コミュニティセンター

Keywords: Public School, Conversion,

Consolidation of Public Schools, Community Center

既存公立学校施設の

- 1) 現代的機能を備えた学校としての再生リモデル
- 2) コミュニティー施設等への再生コンバージョンについて転換・改修のプランニングモデルを開発する一連の研究である。今年度は、横浜市：霧が丘地区と多摩ニュータウン：諏訪・永山地区において統廃合によって廃校になった跡施設をコミュニティセンターにフル・コンバージョンする2つのプロジェクトにおいて成果があった。

■KIRプロジェクト：横浜市霧が丘地区：コミュニティセンター計画

・緑区霧が丘地区には3つの市立小学校があるが、いずれも児童数減少で学年単学級の小規模校となり、統合再編成が行われることになった。

・このうちの廃校予定校をコミュニティセンターへ転換する構想があり、COEプロジェクトとして取り組むことになった。

・生涯学習諸機能，高齢者支援，子育て支援などを主たる機能と設定し，計画条件を設定した。

・緑区と基本構想として合意をみた。一部減築を行い，また部分的にスラブを抜いて吹き抜け空間を創りながら，既存躯体をほぼフル活用する計画。

■NAGプロジェクト：多摩市諏訪・永山地区：コミュニティセンター計画

・多摩市では計画的にコミュニティセンター整備が進めてきたが，未着手の諏訪・永山地区には廃校になった東永山小学校の跡施設を利用してコミュニティセンターを設置する計画である。

・すでに整備が終わっている6館の利用状況等を詳細に把握し(C142プロジェクトを参照)，計画条件を設定した。

・大学院修士課程のプロジェクト課題として研究室を超えた協同を行い，成果報告としてまとめた。



霧が丘地区の地域概要

